

チャット “いい話”

“旧交”を温める

文・後藤 伸一

昨年9月、司法研修所卒業30周年の記念大会が、仙台で開催され、後藤はこれに参加して来ました。少しでも「東北を励まそう。」との趣旨で仙台の地が選ばれたのですが、その際、被災地見学バスツアーが組まれ、後藤はそれにも参加したところ、バスツアー参加者の中に、昭和55年前後の数年間東京で付き合いのあった、今は名古屋で開業している古き友人があり、偶然にも久しぶりに出くわすこととなりました。

この再会がきっかけで、お互い山登りが趣味であったことから、一度一緒に北アルプスの山登りをしようとの話になり、二人とも未だ行ってないコースということで、今年の春頃から話し合った結果、8月下旬に立山から五色ヶ原を経て、薬師岳を縦走し、折立に下りるということになりました。

金曜午後のサンダーバードで富山に入り、駅前のビジネスホテルに泊まったのですが、近くの居酒屋で、昔のことや互いの近況で話が弾みました。山登りの初日は4時過ぎに起きて5時半頃の始発電車に乗り、富山地方鉄道の立山駅まで行き、ケーブルカーで美女平へ、そして山岳バスで標高2450mの立山室堂に7時半頃到着しました。午前8時過ぎに室堂を出発しましたが、小雨とガスと風模様で、気温



は8度でした。一の越、竜王岳、鬼岳、獅子岳(2714m)、ザラ峠(2348m)を経て五色ヶ原へと歩を進めました。終日台風並みの風雨の中、アップダウン続きで中々大変でしたが、16時頃五色ヶ原山荘(2500m)に到着しました。ただ、荒れた気象であった分、宿泊者が少なく、山小屋生活は快適でした。

山中2日目は5時の朝食を済ませ、5時半過ぎに出発し、鳶山(2616m)、越中沢乗越(のっこし、2356m)、越中沢岳(2591m)、スゴノ頭、スゴ乗越(2140m)を経て、憧れのスゴ乗越小屋(2270m)に16時頃着きました。この日は曇りから徐々に天候が回復し、青空も見えるようになりましたが、昨日同様アップ





ダウンの連続でした。しかし、この古いスゴ乗越小屋にはそこはかとなく郷愁を誘う味わいがあり、宿泊者も少なく快適で、食事が一番良く、北アルプスの最奥とも言うべき山々に囲まれた静寂の地で、遙々やって来るだけの値打ちのある山小屋でした。

3日目は、愈々北アルプスの女王と言われる薬師岳に登るのですが、5時の朝食を済ませ、間山(2585m)までは樹林帯が続き、とても気持ちの良い山歩きでした。次いで北薬師岳(2900m)を目指しましたが、晴天の中、景色は申し分ないものの、暑くて体力を消耗することこの上ありませんでした。

北薬師岳山頂では、北に立山や針木岳はもちろん、南に雲ノ平、槍ヶ岳、穂高連峰がくっきり見てとれるのです。ここまでの展望はそう得られるものではなく、ヘロヘロになりながらも来て良かったとの感慨一杯でした。次の薬師岳本峰(2926m)はこれまでに南から3回位登っていたのですが、北からぐいぐい登る今回の山旅は、登りがいのあるものでした。そして、薬師岳山荘、薬師峠(2294m)、を経て、16時過ぎに太郎小屋(2330m)に到着です。この小屋は方々からの登山道の十字路とも言うべき位置にあって、150人収容と大きいのですが、宿泊客が多く、その分、快適とは行きませんでした。



4日目は、折立(1350m)に下るだけですが、途中、劔岳や立山の弥陀ヶ原、富山平野等が一望できました。折立からは富山地铁有峰口駅へ、そして4日前の富山駅に帰り、13時過ぎのサンダーバードでJR富山駅を後にして、17時過ぎ、姫路に帰ってきました。30年振りの旧交を温める良い旅になりました。